

公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)
2020年度(令和2年度)第2回定時理事会 議事録

[1]開催:2020年9月16日(水)13:00~17:20

- ・形式:インターネット ウェブ会議/実会議方式の併用
- ・運営会場:Japan Sport Olympic Square(新宿区霞ヶ丘町)

[2]出席(理事25名、監事2名):

岩城光英、國分孝雄、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、飯島健二郎、山倉紀子、鈴木貴里代、村瀬訓生、和田知子、山根英紀、関根明子、富川理充、原澤敦美、上田藍、佐藤圭一、豊岡正康、園川峰紀、小林洋、吉田隆雄、宮本悦子、大野徹雄、須山浩光、宮城直久(以上、理事25名)

荻原政吉、秋山智昭、(以上、監事2名)

- ・オブザーバー(4名)中山俊行(オリンピック対策チームリーダー)、中島靖弘(マルチスポーツ対策チームリーダー)、川添勝(審判委員長)、小池賢(事業企画委員)
- ・事務局出席(8名)坂田洋治、土屋佳司、児玉健太、長江千明、萩原舞、大岩葵、内藤裕也、島村直子

[3]議事の経過

JTU定款第6章(理事会)第34条(決議)により、ウェブ会議進行役の児玉事務局次長が出席理事ごとに確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款33条(議長)により、岩城会長が議長として開会宣言を行い、同第23条(理事の職務及び権限)による会長及び業務執行理事の職務執行状況を報告した。その後、定款第36条(議事録)により、会長、監事2名を議事録承認者とし、大塚専務理事、園川理事を議事録の確認者、議事録作成者に事務方を指名し、議案の審議に入った。

第0号議案 前回理事会議事録承認

2020年度第3回臨時理事会の議事録案について、メール回覧済であることを事務方が報告した後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項)2020年度第3回臨時理事会(2020年8月7日開催)議事録案

第1号議案 役員・委員の変更

標題について大塚専務理事から説明があった後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1) 東京ブロック理事候補の推薦
・説明骨子) 山倉和彦 JTU 理事(東京ブロック)の辞任を受け、次期理事として川添勝 TMTU 専務理事(JTU 審判委員長)の推薦があった。定款により、2021 年度社員総会で理事候補として推薦することとした。なお、当面はオブザーバーとして理事会に出席する。

・承認事項2) 前述の辞任により、現行の役職を次のように対応する。

- ①国体委員会の木下貴之副委員長(大阪府トライアスロン協会)を国体委員長代理とする。
- ②オリンピック対策チーム女子コーチ辞任及びJOC強化スタッフの登録を解除する。
- ③上部団体(公益財団法人日本スポーツ協会=JSPO)における国民体育大会競技運営部会員は、当面、該役職を定めず、会長・業務執行理事または事務局長が代行する。

・承認事項3) 社員の変更

説明骨子) 鹿児島県トライアスロン協会JTU社員を永田はるよ氏から浅野喜美子氏に変更する。

第2号議案 2021年度JTU会員登録関連

標題について、事務方及び大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1) JTU 会費の減額・免除案の取下げ

説明骨子) JTU は中央競技団体として、諸規程により、加盟団体を通じた会員を承認し、これに伴い加盟団体が登録会費を納める。これにより、全国が連携する相互関係にある。このような中、今後の収支想定が難しさを増しており、当初案は対応が難しいことが判明した。加盟団体や登録会員に向けては、今後、継続的にサービス機関として何ができるかを検討する。

・承認事項2) 登録開始日と案内文案(2020 会員への説明)

・承認事項3) 2021 年度の会員への提案

説明骨子) 来年以降も会員の登録が継続するよう、会員に寄り添い、トライアスロン地域振興活動への参加企画の活性化や JTU 登録システムの改善によるサービス向上を検討していく。

第 3 号議案 細則の変更(前回からの継続審議)

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項)JTU細則第7条(登録者)第4項の変更

<現在>

加盟団体は、所属する登録者1名につき一千円の登録会費を、登録者名簿を添えて、その年度中の12月末日までに納入しなければならない。ただしインターネットによる登録の場合については別に定める。

<変更案>

加盟団体は、所属する登録者1名につき理事会の決議により定めた登録会費(別表2)を、登録者名簿を添えて、その年度中の12月末日までに納入しなければならない。なお、インターネットによる登録の場合については別に定める。

<変更理由>

JTU 登録会費の区分が多様化しており、従来から行われている理事会での審議状況を成文化し、最新の登録会費を表記して加盟団体の理解を促すため。

[別表2]

JTU 登録会費(加盟団体から JTU への納入額)

- ・一般(新規・継続):1,000 円
- ・高校生:300 円、中学生:100 円、小学生:100 円
- ・団体会員(新規・継続):500 円
- ・審判限定:0 円

主要意見)

- ・ 高校生の登録費について、300 円の加盟団体もあれば、高いところでは一般会員並のところもある。高校生会員を増やす意味でも全国で金額を横並びにできないか。
- ・ 登録費の一律化よりも全国で高校生の登録を拡げるためのプロモーション活動を充実させることの方が重要。
- ・ 高校生登録の多い少ないは金額ではなく、高校生向けの大会の有無や活動できるクラブがあるかどうかの影響の方が大きい。
- ・ 正規の会費を支払わず、「審判限定登録」だけで大会に出場するという不正行為が報告されている。システム上で虚偽を認識できるように研究を進める必要がある。な

お、不正出場での対処として、選手名が公示され、一年間の出場停止処分が科せられた実例が報告された。

・登録会員は、団体登録など様々に展開されているため、細則とは別に包括的な規程案が望まれる。

第4号議案 ITU(WT)役員・委員(2020-2024)推薦案

標題について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項)ワールドトライアスロン選挙立候補者推薦案

補足説明)アジア内の調整及び戦略的な検討を行った上でJTUからの推薦立候補者を最終的に決定する。なお、技術委員を増やすという議案は提出しない。

第5号議案 JTU マルチスポーツ対策(ロング・デュアスロン・ウインター・クロス他)に関する方針

標題について、中島リーダーから説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項)JTU マルチスポーツ対策に関するロードマップについての基本方針

・説明骨子)ロングディスタンスをはじめとするマルチスポーツにおいては、日本の選手と世界との差が歴然としているため、国際競技力の向上を目指し、強化指定選手制度と日本代表選手選考制度の刷新を図り、普及面でも世界選手権派遣プログラムを見直すなど、強化と普及両方を支える財務についても関係部局と連携していく。より詳細なロードマップと目標・基準を策定し、12月のJTU理事会にて提案する。

・主要意見)選考基準にスイムの実績を入れるかどうかの再検討及び総合タイムでの選考をお願いしたい。

第6号議案 世界U23、ジュニア選手権派遣方針

標題について、事務方と中山リーダーから説明があった後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項)世界U23・ジュニアトライアスロン選手権(2020/バレンシア)派遣方針

・説明骨子)11月7日・8日にスペイン・バレンシアで世界U23・ジュニアトライアスロン選手権の開催が検討されているが、現状では、帰国後2週間の隔離措置があることや、海外渡航によるリスクから、学校や保護者への十分な説明と理解が必要となる。課題や不確定要素が多いが、派遣することになった場合は、海外派遣に関する新型コロナウイルス感染防止ガイドラインを遵守した上で、選考方法(記録会タイム、過去実績による推薦など)を検討する。

第7号議案 日本選手権、世代別日本選手権 技術代表(TD)・審判長(HR)

標題について、川添審判委員長の報告に続く質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1) 第10回日本U23トライアスロン選手権(2020/長良川)

技術代表:深井孝道(愛知県)、審判長:鈴木正人(愛知県)

・承認事項2) 第22回日本U19トライアスロン選手権兼第3回全国高等学校トライアスロン選手権(2020/長良川)

技術代表:深井孝道(愛知県)、男子審判長:木本浩司(三重県)、女子審判長:加藤とも子(三重県)

・承認事項3) 第22回日本U15トライアスロン選手権(2020/長良川)

技術代表:深井孝道(愛知県)、男子審判長:鈴木正人(愛知県)、女子審判長:木本浩司(三重県)

・承認事項4) 第26回日本トライアスロン選手権(2020/東京・台場)

技術代表:石井なおみ(千葉県)、男子審判長:廣澤克壽(東京都)、女子審判長:小田智子(東京都)

・補足事項:9月20日に審判委員会から審判長の変更申請があり、U19選手権男女審判長:木本浩司、U15選手権男女審判長:鈴木正人とする。

第8号議案 第26回日本トライアスロン選手権 競技内容の変更

標題について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) コース状況と周辺事業者環境に伴う競技内容の変更及び出場資格年齢の変更

・説明骨子) 11月8日開催の第26回日本トライアスロン選手権/NTTジャパンランキングが不可抗力によるコース環境の状況により、スタンダードディスタンスからスプリントディスタンスへの競技距離を変更する。それに伴い、JTU競技規則に則り、出場資格年齢を16歳以上として開催することとする。

・補足説明) 水質状況について、大会開催1週間前に水質検査を行う規定であるが、豪雨等により大会開催直前に水質基準を下回るような状況が発生したら、大会当日まで毎日水質検査を行う。その結果により、スイムコース短縮、スイム中止でのデュアスロンなど、大会マニュアル(EOM)に沿った変更を行う。コロナ感染対策においても、大会直前の状況により、大会縮小・延期・中止などの危機管理措置を講じるものとする。

第 9 号議案 年代別日本選手権の開催日の変更

標題について、事務方の報告に続く質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 年代別日本選手権の土曜日開催、エイジグループの日曜日開催
- ・説明骨子) 大会参加人数を平準化する必要から、10 月 17 日(土)にU23 からU15 までの年代別選手権を実施し、18 日(日)にエイジの大会を集約する。土曜日に学校がある学生が午後から現地入りできるようなスケジュールとし、負担軽減に配慮する。競技説明会もオンラインで実施する。

第 10 号議案 2020 大会関連(大阪城、宮崎)の最終確認事項

標題について、事務方の報告に続く質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 大阪城、宮崎におけるイベント開催方針
- ・説明骨子) 大阪城ではアジアカップの開催はせず、国内エリート・ジュニアの強化指定選手を中心に男女 30 名のスーパースプリントを実施。エイジグループはスタンダード、スプリント及びリレーを予定。ワールドカップ宮崎大会の 10 月の実施は見合わせるが、2021 年 3 月開催で調整中。10 月は代替イベントとして人数を絞った上でエリートとパラのレースを実施予定。

第 11 号議案 2021 以降大会事業取組(アジア選手権・WTS・WC・各日本選手権・新規大会)

標題について、大塚専務理事の報告に続く質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2021 年以降の大会事業の取り組み方針
- ・説明骨子) 今後予定または検討中の大会は以下の通り。
 - ①2021 年: 3 月宮崎 WC、4 月アジア選手権(廿日市)、5 月大阪城 AC、WTS・WPS 横浜、6 月諏訪湖ミドル、10 月宮崎。アジアカップ蒲郡、高松、村上大会についてはこれから協議。
 - ②2022 年: WTS・WPS 横浜(複数年契約予定)、宮崎 WC、富士河口湖周辺での新規大会、東京海の森運動公園での大会・合宿を計画。
 - ③2024 年: アジア選手権(パリ大会アジア大陸予選)
 - ④2017~2030 年: WTS グランドファイナルの横浜開催を検討
 - ⑤2028 年: アジア選手権(LA 大会アジア大陸予選)

第 12 号議案 セミナー・フォーラム委員会 2020 年度方針

標題について、岸田常務理事の報告に続く質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、

ろ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2020 年度セミナー・フォーラム開催方針
- ・説明骨子) コーチングシンポジウム、トライアスロン・パラトライアスロン研究会、パラトライアスロンミーティングについては、コロナ禍でも形式を変えて実施可能なものは行うこととし、開催に向けて検討する。また、9 月 15 日開設された JTU スタジオの有効活用を図ることが提案された。

第 13 号議案 指導者養成資格の COVID-19 対応案

標題について、岸田常務理事の報告に続く質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 指導者養成講習会の一部オンライン化の適用
- ・説明骨子) コロナウィルスの影響がある期間に限り、日本スポーツ協会の許可を得れば指導者養成講座のオンライン化が認められるため、集合講習の際のガイドラインを準備し、一部をオンライン講習にして実施に向けての検討を依頼する。

第 14 号議案 SNS ガイドラインの新設

標題について、事務方の報告に続き、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) JTU 公式ソーシャルネットワークサービス(SNS)コミュニティ・ガイドライン(案)

第 15 号議案 ガバナンスコード適合性審査の対応

標題について、事務方の報告に続き、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) ガバナンスコード適合性審査の対応
- ・説明骨子) 適合性審査43項目について記入の上、10 月末に提出する。

第 16 号議案 加盟団体理事の不祥事の報告と対応

愛媛県トライアスロン協会に所属する理事に係る不祥事(新聞掲載)について、大塚専務理事からの報告と対応策が示され、対応策について議長が賛否を求めたところ、満場意義なく承認可決した。

- ・承認事項: JTU 加盟団体での不祥事に係る対応策等

第 17 号議案 リスクアセスメントを目的とした大会開催新型コロナウイルス対策運営オブザーバーチーム(仮称)の設置案

標題について、大塚専務理事の報告に続く質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ

ろ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項)リスクアセスメントを目的とした大会開催新型コロナウイルス対策運営オブザーバーチーム(仮称)の設置案

・説明骨子)JTU 主催大会において安心安全なイベント開催につなげるため、感染症対策の履行状況を確認し、感染症防止策を研究・検証するオブザーバーチームを設置する。

[4] 報告事項

1. 海外派遣の報告

・ ITU 世界トライアスロン選手権(2020/ハンブルク)及び ITU トライアスロンワールドカップ(2020/カルロヴィ・ヴァリ)に上田藍選手、ニナーケンジ選手の2名を派遣。上田選手/理事からは、派遣手続き際して多くのサポートを受けた感謝とコロナの影響で様々な制約がありながらも開催されたレース運営について、関係者に共有をしていきたいとの報告があった。

今後の予定)

・ ITU トライアスロンワールドカップ(2020/アルツァケーナ)10月10日上田選手、ニナー選手、管理責任者・山根理事

・ ITU パラトライアスロンワールドカップ(2020/アリヤンドラ)10月10日宇田秀生選手、管理責任者・富川理事

2. ITU/WT 女子委員会アワード申請

・ JTU から世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織員会を推薦。

3. スポーツ庁 スポーツ経営人材育成・活用促進事業

・ 外部人材の流入促進による競技団体の経営力強化について人材派遣会社等のサポートを受け、マーケティング事業局のディレクターとなる人材を募集する。

4. JTU スタジオと、動画収録第1弾会長メッセージ

・ JTU大会議室に設営したスタジオにて記者会見やウェビナー等を配信予定。

5. JTU 派遣者等に対するPCR検査の方針と実施状況と今後の実施予定

・ 合宿や視察等の事業を中心に、JTUから県をまたいで派遣を行う際にはPCR検査を実施。

6. 強化関連

・ JTU ナショナル女子強化支援事業及び JTU パラトライアスロン強化支援事業として

オリパラ候補選手へ強化補助金を活用しての個別活動支援を継続して実施。年度内の期間や予算編成についてはオリンピック対策チーム、パラリンピック対策チームにて調整を行う。

- ・ 2020NTT ジャパンランキング基準(変更)

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響から 2020 年の大会数の減少を受け、2020 年は 2020 年 5 月 5 日時点の NTT ジャパンランキングと日本選手権の特別ポイントで年間ランキングを決定する。

- ・ 認定記録会制度変更に伴い、加盟団体向けに WEB 説明を行う。
- ・ 日本スポーツ協会の選手発掘育成事業「J-STAR プロジェクト」への参画。

7. 2024パリオリンピック準備報告

- ・ 準備担当デスクとして山根理事が8月より事務局で業務開始(遠征時期を除く、週1回を基本)。

8. パラリンピック対策チーム報告

- ・ ITU パラトライアスロンワールドカップ(2020/アリヤンドラ)大会が今年初めてのレースとなる。国内の大会がない中、記録会を実施するなど選手のモチベーションを保つように配慮。

9. ブロック・加盟団体報告

- ・ 北海道:ウィンタートライアスロンなど来年に向けて少しずつ始動。
- ・ 関東:10月4日東京都・関東選手権開催。栃木国体に向けて準備。
- ・ 北信越:9月17-18日長野県の合宿地表敬訪問。諏訪大会第1回実行委員会。
- ・ 東海:長良川大会、東海ブロック選手権、アイアンマン開催に向け準備中。
- ・ 近畿:8月16日インカレ測定会開催。大阪城大会への協力をお願いしたい。
- ・ 四国:愛媛県協会理事の不祥事についてお詫びするとともに、会員全員に注意喚起し、再発防止に努める。
- ・ 沖縄:10月3日に認定記録会を予定。

10. その他

- ・ 財務:2020年度上半期決算は12月の理事会で報告。
- ・ 10月1日にITUがワールドトライアスロンに名称変更、新しいロゴ発表。

11. 次回定時理事会:2020年12月4日(金)時間未定

[5] 閉会宣言

國分副会長の挨拶の後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、17時20分に閉会した。

議事録署名：

(岩城光英・議長・会長・代表理事) (印) 2020年 月 日

(荻原政吉・監事) (印) 2020年 月 日

(秋山智昭・監事) (印) 2020年 月 日

(大塚眞一郎・専務理事) (印) 2020年 月 日

(園川峰紀・理事) (印) 2020年 月 日

以上